

朝来市社会福祉課からのお願い

子どものいる家庭の生活と意識に関する調査について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、国において「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、子どもの「将来」だけでなく「現在」の生活等に向けても子どもの貧困対策を総合的に推進することを規定するとともに、子どもの最善の利益が優先されること、貧困の背景に様々な社会的要因があることを基本理念に明記されました。

そこで、朝来市の子どもがいる家庭を対象に、子育て世代の負担や不安に感じられている実態を把握し、その解消に向けた支援策の検討等を進めるにあたっての参考とさせていただくため、生活と意識に関する調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、日頃感じておられる悩みや困りごとをお聞かせいただきたく存じます。是非ともご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年12月吉日

朝来市長 多次 勝 昭

【調査対象者】

今回のアンケート調査は、市内に居住する子どもがいる家庭を対象としております。

【皆様をお願いしたいこと】

アンケートにご回答のうえ、返信用封筒にてご提出ください。

【今回お送りしたもの】

「子どものいる家庭の生活と意識に関する調査票」（次ページ以降の調査票）

【個人情報の保護について】

この調査は、無記名でご回答いただくものであり、回答の結果は統計的に処理し「こういうご意見が何%」というように数表としてまとめますので、個人のお名前が特定されることはありません。

記入が終わった調査票は、

同封の返信用封筒で郵送、又は各園・学校に封入の上提出ください。

※提出期限：令和2年1月24日（金）必着

【調査に関するお問い合わせ先】

朝来市社会福祉課福祉総務係（平日8：30～17：15）

電話：672-6123 FAX：672-4109 Eメール：shakaifukushi@city.asago.lg.jp

子どものいる家庭の生活と意識に関する調査票

●調査票の記入方法について

- 1 この調査票は、親として子育てをしているご本人様をご記入ください。
- 2 ご記入にあたっては、ボールペン又は鉛筆を使用してください。
- 3 質問項目は、令和元年12月1日現在の状況でご記入をお願いします。
- 4 回答は、選択肢のうちからあてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。

なお、設問によっては2つ以上回答していただく場合や、文字・数字を記入していただく場合がございますので、説明にしたがってご記入をお願いします。

I あなたとあなたのご家族についてお聞きします。

問1 あなたとお子さんとの関係についてお答えください。

- 1 父 2 母 3 祖父母等 (父母以外)

問2 あなたの現在の年齢はおいくつですか。

- 1 25歳未満 2 25～29歳 3 30～34歳 4 35～39歳 5 40～44歳 6 45～49歳
7 50歳～59歳 8 60歳以上

問3 あなたの最終学歴を教えてください。

- 1 中学校 2 専修・専門学校 (中学卒業後) 3 高校 4 専修・専門学校 (高校卒業後)
5 短大・大学以上 6 その他 ()

問4 あなたを含む、同居するご家族は何人ですか。

学校が遠方である等で普段同居していないお子さんも含めてお答えください。

	人
--	---

問5 お子さん (20歳未満) の状況について、年齢別学年別の人数を下の表にご記入ください。

通園していない乳幼児		保育園・幼稚園児 認定こども園児		小学生	中学生	高校生 高専生 高校相当の 専門学校生	大学生 短大生 専門学校生 各種学校生	就業	その他 (無職)
3歳未満	3歳以上	3歳未満	3歳以上					歳	歳
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問6 あなたの住宅に当てはまるものを、次のうちから選んでください。

- 1 持ち家 (自分所有) 2 持ち家 (家族所有) 3 親戚の家に同居
4 公営・公社・公団住宅等 5 社宅 (住込み含む) 6 民間アパート・貸家
7 その他 ()

問7 現在、あなたが特に困っていることについて、困っていることを3つまでお答えください。

- 1 住宅の確保 2 生活費 3 医療費 4 現在の仕事 5 求職 6 子と過ごす時間
7 子の教育 8 保育所入園 (待機) 9 病児保育 10 家事 11 自分の健康
12 家族の健康、介護 13 特にない 14 その他 ()

問8 あなたが悩んでいることについて、最もよく相談する相手は誰ですか。

- 1 友人・知人 2 地域住民 3 親族 4 子どもや家族 5 自分で解決
6 子の学校や幼稚園等 7 市などの行政職員 8 相談相手がいない
9 その他 ()

II あなたのお仕事と世帯の収入についてお聞きします。

問9 あなたのお仕事について、次のうちどれが最もあてはまりますか。

(2種類以上の仕事をしている場合は、最も収入の多いものをお答えください。)

- 1 自営業 2 正社員・正職員 3 非正規雇用(フルタイム) 4 非正規雇用(短時間勤務) 5 内職
6 仕事についていない 7 その他()

問10 <問9で「6仕事についていない」とお答えの方にお聞きします。>

仕事についていない理由として、次のうちどれが最もあてはまりますか。

- 1 求職中 2 技能・技術・資格の取得中 3 乳幼児や小さい子の世話を専念
4 子の病気等で仕事ができない(病名等:)
5 自分の病気等で仕事ができない(病名等:)
6 子ども以外の家族・親族の介護 7 その他()

問11 あなたの世帯の収入についてお聞きします。

平成30年1月1日から12月31日までの1年間の総収入額はいくらですか。

(※社会保険料・住民税など、引かれる前の金額でお答えください。ボーナス等の臨時収入、年金、養育費、児童扶養手当等も含めます。)

- 1 0~100万円未満 2 100~200万円未満 3 200~300万円未満
4 300~400万円未満 5 400万円以上

問12 あなたの世帯の預貯金(株、保険、現金等を含む)の額を教えてください。

- 1 0円 2 1~10万円未満 3 10~50万円未満 4 50~100万円未満
5 100~200万円未満 6 200~300万円未満 7 300~500万円未満 8 500万円以上

問13 あなたの世帯の借入金(車のローン、奨学金、親族友人からの借入等)の額を教えてください。

- 1 0円 2 1~10万円未満 3 10~50万円未満 4 50~100万円未満
5 100~200万円未満 6 200~300万円未満 7 300~500万円未満 8 501万円以上

問14 <離婚をしたひとり親家庭の方へお聞きします。>

あなたはお子さんの養育費を受け取っていますか。

- 1 もらっている 2 もらっていない

III あなたの子育てや教育などについてお聞きします。

問15 あなたが子育てしていて最も大変と感じていること1つを教えてください。

- 1 特にない・わからない 2 子の健康管理・食生活 3 子と一緒に過ごす時間の確保
4 子の学習意欲の維持・向上 5 子に生き方や生活習慣を教える 6 子に勉強を直接教える
7 思春期の子どもへの対応 8 保育料の確保 9 今の学校の学費の確保 10 塾や習い事の費用
11 修学旅行や部活の遠征費用の工面 12 将来のための学費の貯金等 13 生活費全般の確保
14 その他()

問16 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに朝ご飯を用意しますか。

- 1 毎日 2 週4~6日 3 週1~3日 4 まったく用意しない

問17 問16で「4まったく用意しない」と答えた方にお聞きします。用意しない理由として最もあてはまるものをお答えください。

- 1 経済的に困難 2 用意する時間がない 3 用意がめんどろ 4 もともと食べる習慣がない
5 その他()

問18 問16で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。お子さんの朝ご飯は、どのようなものを用意しますか。

- 1 ごはんやパンだけ 2 ごはんやパンとおかず 3 果物だけ 4 飲み物だけ
5 クッキーなどの菓子 6 その他 ()

問19 お子さんに1日3回、十分な食事を食べさせることを難しく感じることはありますか。

- 1 ある 2 なし

問20 問19「1ある」と答えた方にお聞きします。理由として最もあてはまるものをお答えください。

- 1 経済的に困難 2 忙しくて作る時間がない 3 料理を作る技術が足りない
4 疲れていて用意できない 5 その他 ()

問21 過去1年間で、経済的な理由によって、家族が必要とする食料や必要な衣服、お子さんの成長に合った衣服や必要とする文具などを購入できないことはありましたか。

- 1 よくあった 2 ときどきあった 3 たまにあった 4 なかった

問22 お子さんにはむし歯がありますか。

- 1 ある(治療をしていない) 2 ある(治療中) 3 あった(治療はおわった)
4 まったくない 5 わからない

問23 問22で「1ある(治療をしていない)」と答えた方にお聞きします。

治療をしていない理由として最も近いものをお答えください。

- 1 今後治療予定 2 治療に行く時間がない 3 経済的に困難
4 治療の必要がない 5 特に理由はない 6 その他 ()

問24 過去1年間で、お子さんを病院に受診させた方が良かったと思っただが、実際には受診させなかったことがありましたか。

- 1 ある 2 ない

問25 問24で、「1ある」と答えた方にお聞きします。

受診させなかったのはなぜですか。最も近いものをお答えください。

- 1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができないため
2 公的医療保険に加入していたが、自己負担金を支払うことができないため
3 子本人が(行くのが)嫌だと言ったため
4 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
5 多忙で、医療機関に連れていく時間がなかったため
6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
7 その他 ()

問26 あなたは、お子さんにどの学校へ進んでほしいと思いますか。

- 1 中学校まで 2 専修・専門学校(中学卒業後)まで 3 高校まで
4 専修・専門学校(高校卒業後) 5 短大・大学以上 6 特に希望はない
7 その他 ()

問27 問26で、そのようにお考えになる理由は何ですか。

- 1 子の希望 2 一般的だと思うから 3 子の学力が十分にあるから
4 子の学力が不足しているから 5 経済的に余裕があるから
6 経済的に余裕がないから 7 特にない 8 その他 ()

問28 お子さんを将来希望する学校まで進学させる際、最も心配なことは何ですか。

- 1 子の学力 2 勉強する習慣がついていない 3 塾等に通わせたいがお金がない
 4 進学させるお金がない 5 進学先の選択 6 特にない
 7 その他 ()

問29 お子さんの教育に係る経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに○を)

- 1 授業料・保育料 2 学用品費 3 給食費 4 修学旅行費 5 クラブ活動費
 6 学校・園外の教育費(塾、通信教育等) 7 なし 8 その他 ()

<問30～問37については小学生以上のお子さんがいる方にお聞きします。>

問30 不登校を経験したことがあるお子さんがいますか。

- 1 不登校の経験なし 2 過去に不登校の経験あり 3 現在不登校中 4 わからない

問31 お子さんの学校での学習の状況をどのように思われますか。

- 1 十分理解できている 2 まあ理解できている 3 どちらともいえない
 4 あまり理解できていない 5 ほとんど理解できていない

問32 お子さんが学校を中退したことがありますか。お子さんが複数いる場合は、お子さんごとに該当する欄にお答えください。

- 1 中退したことはない 2 高校を中退した
 3 専修・専門学校(中学卒業後)を中退した
 4 専修・専門学校(高校卒業後)を中退した
 5 短大・大学以上の学校を中退した
 6 その他 ()



第1子	第2子	第3子以降

問33 問32で「2」～「5」と答えた方にお聞きします。お子さんが学校を中退した理由として、最もあてはまるものをお答えください。

- 1 子の学力不足 2 欠席することが多く、進級できない
 3 金銭的な負担 4 校風があわない 5 子が進路変更した
 6 その他 ()



第1子	第2子	第3子以降

問34 あなたの世帯では、お子さんが進学をあきらめたことがありますか。お子さんが複数いる場合は、お子さんごとに該当する欄にお答えください。

- 1 進学をあきらめたことはない
 2 専修・専門学校(中学卒業後)への進学をあきらめた
 3 高校進学をあきらめた
 4 専修・専門学校(高校卒業後)進学をあきらめた
 5 短大・大学以上への進学をあきらめた
 6 その他 ()



第1子	第2子	第3子以降

問35 問34で「2」～「5」と答えた方にお聞きします。お子さんが進学をあきらめた理由として、最もあてはまるものをお答えください。

- 1 子の学力不足 2 金銭的な負担
 3 親が進学は不要と考えている
 4 子本人が進学することに興味がない
 5 その他 ()



第1子	第2子	第3子以降

問36 お子さんが塾や通信教育などで学びたいと言ってきたら、学ばせてあげますか。

- 1 学ばせる 2 学ばせない・学ばせられない 3 どちらともいえない

問37 問36で「2学ばせない・学ばせられない」と答えた方にお聞きします。

学ばせられないと思う理由は何ですか。

- 1 必要性を感じないから 2 経済的に余裕がないから
3 近くに塾や習い事がないから 4 学校のクラブ活動が忙しいから
5 子が家などで過ごす自由時間が少なくなるから 6 特に理由はない
7 その他 ()

IV お子さんの生活習慣についてお聞きします。

問38 お子さんは歯磨きをしていますか

- 1 ほぼ毎日 2 週に数回 3 月に数回 4 めったにない

問39 お子さんはお風呂に入っていますか。

- 1 ほぼ毎日 2 週に数回 3 月に数回 4 めったにない

問40 お子さんはふだん（月～金曜日）、何時に起きていますか（起床時間）

- 1 午前5時より前 2 午前5時台 3 午前6時台 4 午前7時台 5 午前8時台
6 午前9時より後 7 決まっていない

問41 お子さんはふだん（月～金曜日）、何時に寝ていますか（就寝時間）

- 1 午後9時より前 2 午後9時台 3 午後10時台 4 午後11時台 5 午前0時台
6 午前1時より後 7 決まっていない

問42 お子さんが家でゲームやスマホを利用する時間はふだん（月～金曜日）、1日どれくらいですか。

- 1 まったくしない 2 1時間未満 3 1～2時間 4 2～3時間 5 3～4時間
6 4時間以上 7 わからない

問43 お子さんがテレビやDVDなどを見ている時間はどれくらいありますか。

- 1 見ていない 2 30分まで 3 30分～1時間 4 1時間～2時間 5 2時間～3時間
6 3時間以上 7 わからない

問44 お子さんは、降園・放課後等、誰と過ごすことが多いですか。（あてはまるものすべてに○を）

- 1 父 2 母 3 ひとり 4 友だち 5 祖父母 6 きょうだい 7 親戚
8 先生や支援員などの大人 9 その他 ()

問45 過去6ヶ月のあなたのお子さんの様子にあてはまるものはすべどれですか。

- 1 将来について明るい面をいうことができる 2 自分のベストを尽くそうとする
3 馬鹿にされたり、悪口を言われてもうまく対処することができる
4 他人にきちんと挨拶することができる
5 大人が指示しなくても、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる

V 公的な制度についてお聞きします。

問46 あなたは現在、就学援助を受給していますか。

（※就学援助とは、経済的な理由を要件として、小中学校への就学が困難な場合に、学用品費や給食費、修学旅行費等の一部を援助する制度のことです。）

- 1 受給している 2 受給していない 3 制度を知らない

問47 問46で「1 受給している」と答えた方へ援助費の金額についてお聞きします。
今の援助費の金額についてどう感じますか。

- 1 十分だ 2 少し足りない 3 足りない

問48 問47で「2 少し足りない」「3 足りない」と答えた方へお聞きします。
学校にかかる経費で足りないと思う内容や金額について具体的にお答えください。

問49 あなたは現在、児童扶養手当を受給していますか。
(※児童扶養手当とは、ひとり親等に対する生活の安定と自立の促進のための手当のことです。)

- 1 受給している 2 受給していない 3 制度を知らない

問50 問49で「1 受給している」と答えた方へお聞きします。
児童扶養手当の使い方についておうかがいします。毎年4月・8月・12月に、前月までの4か月がまとめて支払われますが、どのように使っていますか。

- 1 1回の支給ごとに手当を4等分し、月々の家計に繰り入れて使っている
2 月々ではなく年単位で必要となる費用を考えて、計画的に使っている
3 月々の支払い期限を待ってもらい、手当の支給月にまとめて支払っている
4 計画的には使えず、次の支給月には手当がなくなっている
5 少しでも貯金に回すようにしている

問51 あなたは育児に関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○を)

- 1 自分の親 2 きょうだいや親戚 3 友人や同僚 4 民生委員・児童委員など地域住民
5 保育園やこども園の先生 6 子育て学習センターなど 7 保健センターや市役所など行政の窓口
8 市の広報誌 9 インターネット・SNS 10 その他 ()

問52 あなたが子育てしていく上で、これから支援を拡充すべき(必要)と思う制度を教えてください。
それぞれの支援から最も必要だと思うものを1つずつお答えください。

<子育てへの支援>

- 1 ファミリーサポートなど子の送迎・一時預かりの支援 2 病児・病後児保育の充実
3 放課後児童クラブの拡充 4 子育てについて相談できる場所 5 奨学金制度の充実
6 学校教育にかかる費用の助成・免除の拡充 7 中学生以上の子どもが過ごせる場の拡充
8 放課後の補充学習の拡充 9 休日・夜間等の食事提供
10 その他 ()

<生活への支援>

- 1 児童扶養手当などの現金給付の拡充 2 元配偶者へ養育費を請求するためのサポート
3 必要な資金の貸し付け 4 住宅支援の拡充 5 ヘルパー派遣等の生活支援の拡充
6 生活についての相談窓口 7 その他 ()

<仕事への支援>

- 1 就業支援のための訓練や講習会などの機会確保 2 就業のための訓練受講のための経済的支援
3 就業相談や求人情報提供の充実 4 就業の相談窓口 5 親が働きやすい職場環境の改善
6 その他 ()

VI 子どもの明るい未来を支援するためには、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えやご意見、またお困りごとなどがあれば、自由にお書きください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。